

鉄軌道輸送の安全にかかわる情報（平成21年度）

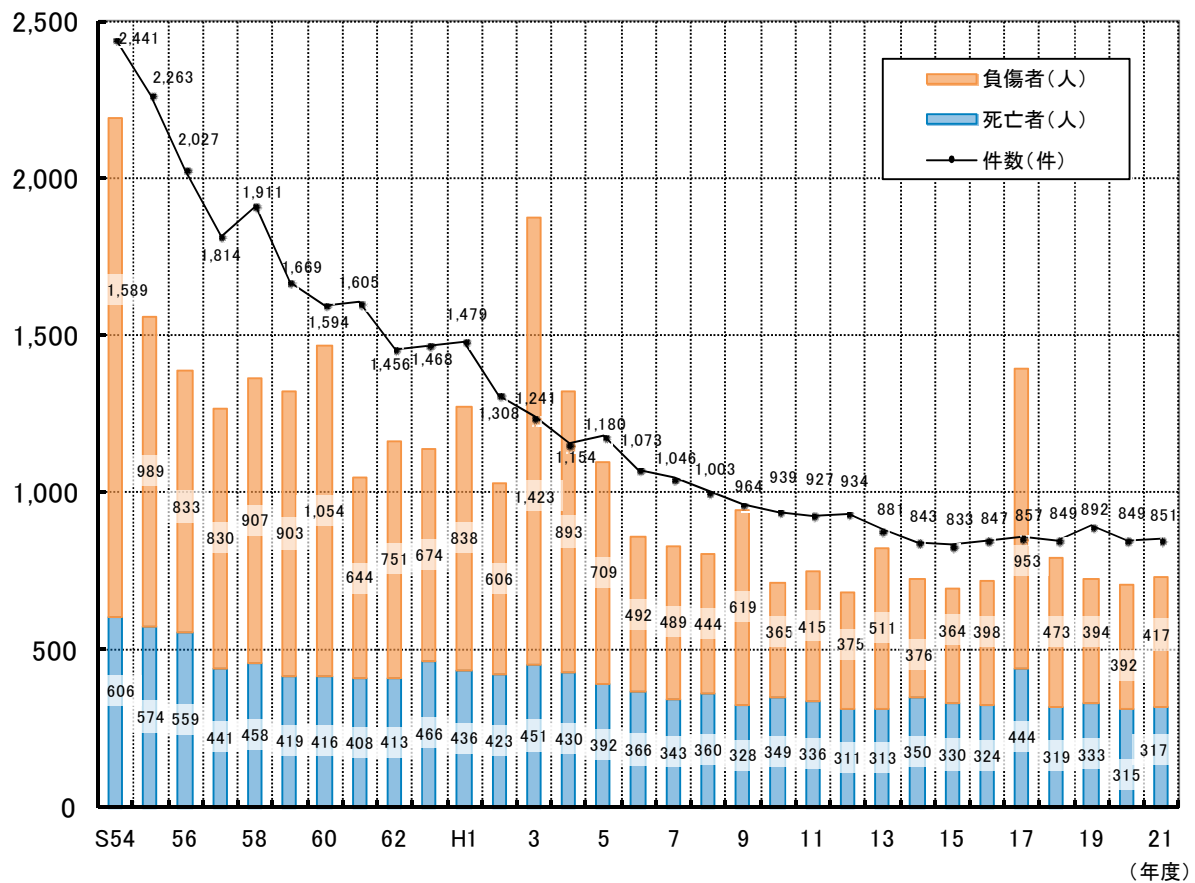
〔概要版〕

1. 平成21年度に発生した運転事故の件数及び死傷者数

運転事故件数は、851件で対前年度2件の増でした。これは、踏切障害事故件数の増によるものです。なお、乗客の死亡はありませんでした。

○ 件 数	851件	対前年度	2件	(0.2%) 増
○ 死 傷 者 数	734人	対前年度	27人	(3.8%) 増
○ うち死亡者数	317人	対前年度	2人	(0.6%) 増

鉄軌道運転事故の件数及び死傷者数の推移



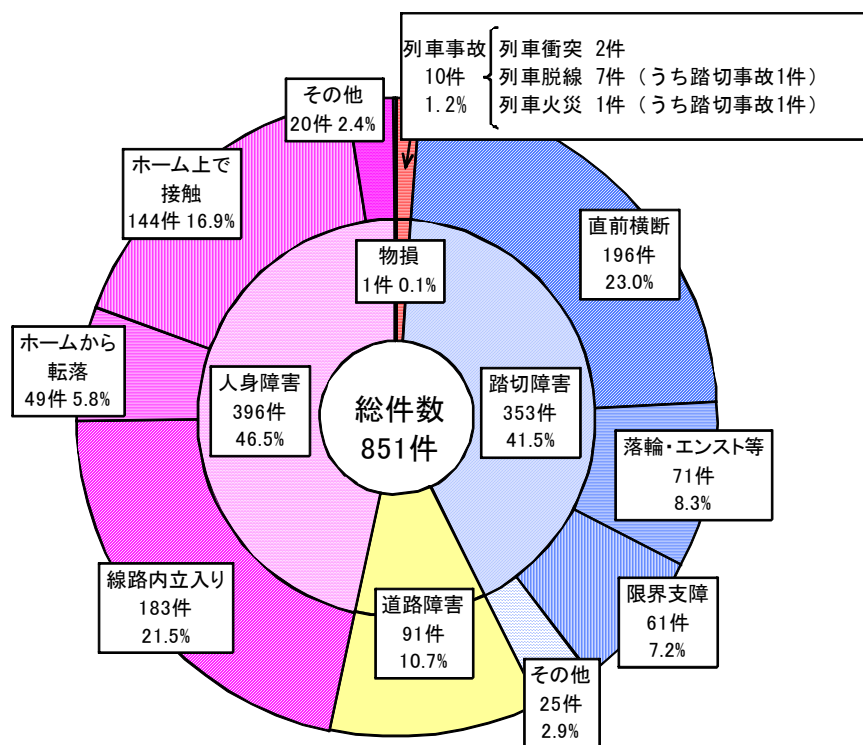
2. 平成 21 年度に発生した運転事故の種類別件数

人身障害事故件数は、対前年度 40 件の減となりました。一方、踏切障害事故件数は対前年度 41 件、道路障害事故件数は対前年度 11 件のそれぞれ増となりました。

なお、人身障害事故と踏切障害事故で運転事故件数全体の約 9 割を占めています。

- 人身障害事故(線路内やホームでの列車との接触) 396 件 対前年度 40 件(9.2%)減
- 踏切障害事故(踏切道での列車と自動車等との接触等) 353 件 対前年度 41 件(13.1%)増
- 道路障害事故(道路上での路面電車と自動車等との接触等) 91 件 対前年度 11 件(13.8%)増

運転事故の種類別・原因別発生状況

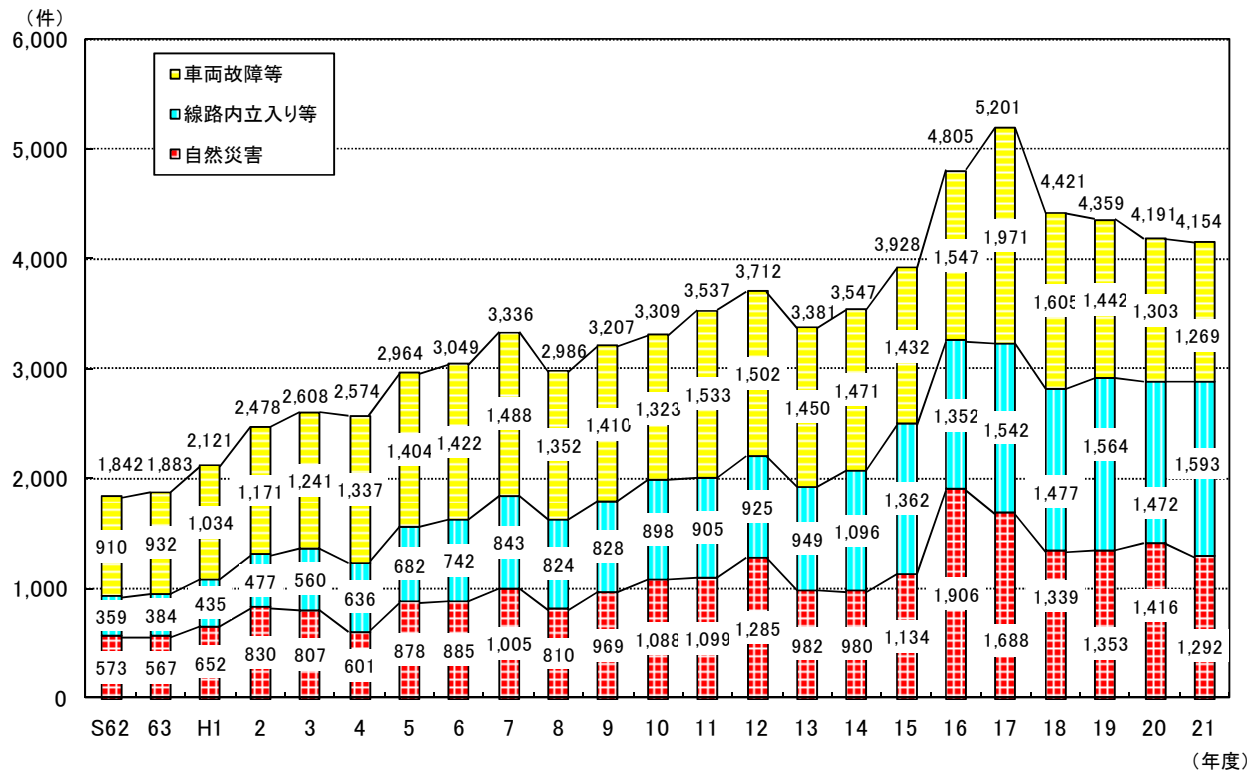


3. 平成 21 年度に発生した輸送障害

輸送障害(列車の運休、旅客列車の 30 分以上の遅延等)の発生件数は、4,154 件で、対前年度 37 件(0.9%)の減となり 4 年連続で減少しました。

一方、輸送障害のうち自殺によるものは、682 件で対前年度 35 件(5.4%)の増でした。

輸送障害件数の推移



車 両 故 障 等：鉄道係員、車両又は鉄道施設に原因するもの

線 路 内 立 入 り 等：線路内立入り、動物との衝突等に原因するもの（車両故障等及び自然災害以外のもの）

自 然 災 害：水風雪雷害、地震災害等の自然災害に原因するもの

4. JR西日本福知山線列車脱線事故後の安全対策の実施状況

JR西日本福知山線列車脱線事故を契機として義務付けた曲線への速度制限機能付きATS等の整備率が平成22年3月末現在で89%に達するなど、安全対策が進捗しました。

技術基準改正に伴う施設等の整備状況の推移

		整備率(%)			
		平成19年3月末	平成20年3月末	平成21年3月末	平成22年3月末
速度制限機能付き ATS等	曲線部	82	84	86	89
	分岐部	33	37	45	53
	終端部	82	83	87	89
運転士異常時列車停止装置		60	64	71	79
運転状況記録装置		35	43	53	64
発報信号設備の自動給電設備		50	57	70	83

※ 特に危険性の高い急曲線における速度制限機能付きATS等の緊急整備については、平成19年3月末までに対象の264箇所全て完了しています。